

市報やまぐち

2025

11/1

November
No.467

土居神楽舞

特集

歴史が紡ぐ新たな絆

2

アロハの心で結ばれる両市の未来

特集

市民生活の安全を守る取り組み

4

山口県央消防指令センター運用開始

■ 令和6年度まちづくりの取り組み状況

6

■ 市政トピックス

9

■ 令和6年度決算報告～市民1人当たりいくら？～

10

■ 山口市の令和7年度上半期財政状況を公表します

13

■ 県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」

14

■ 21 地域リレーコラム

14



歴史が紡ぐ新たな絆 アロハの心で結ばれる両市の未来



「アロハ」は「こんにちは」や「さようなら」のほか、「愛」「平和」「思いやり」など多くの意味を持つ言葉です。
ハワイでは、この言葉が単なる言葉以上に、豊かな文化や心の在り方を感じさせる大切な言葉とされています。

山口市の姉妹・友好都市

都市名	国	提携年	区分
パンプローナ市	スペイン	1980年	姉妹都市
済南市	中国	1985年	友好都市
公州市	韓国	1993年	姉妹都市
鄒平市	中国	1995年	※
昌原市	韓国	2009年	姉妹都市
ホノルル市	アメリカ	2025年	友好都市

※友好交流促進についての議定書締結

初の英語圏の都市との 友好都市提携

9月20日、本市とアメリカ合衆国ハワイ州の州都であるホノルル市が、友好都市提携の調印を行いました。

明治時代から続く山口県とハワイ州両地域の深い歴史的なつながりを基盤とした新たな交流が始まります。

今回の特集では、本市にとって初めてとなる英語圏の都市との友好都市提携であり、今後、教育・観光・文化・経済などさまざまな分野での交流・発展が期待されるホノルル市との友好都市提携についてご紹介します。

国際交流課 ☎ 083・934・2725

ホノルル市って どんなところ？

ホノルル市は、世界有数の観光都市であるだけでなく、日本の自治体とも10都市を超える姉妹・友好都市関係を築いている国際都市でもあり、アメリカの太平洋地域における政治・経済・文化の重要な拠点です。

また、ホノルル山口県人会などの日系コミュニティの活動が活発です。

深い絆で結ばれた 歴史的背景

山口県とハワイの関係は明治時代の官約移民制度（1885年～1894年）にさかのぼり、山口県から約1万人（山口市から約200人）の方々が移り住みました。こうした先人たちが築いた絆は、2022年8月27日、県とハワイ州の姉妹提携へ発展しました。このことを契機に、互いの県都、州都である本市とホノルル市は、2023年7月と2024年6月に親書を交わし、山口市長のホノルル市訪問や、ホノルル市議会とホノルル山口県人会の山口市訪問など、都市間交流を促進し、友好都市提携に向けた取り組みを互いに進め、このたびの友好都市提携に至りました。

友好都市提携で 広がる交流の輪

これまでの姉妹友好都市に加え、英語圏の都市であり、世界有数の観光都市であるホノルル市と、市民の相互交流を中心とした持続的な、両市民の利益につながる交流をホノルル市やホノルル山口県人会等と連携しながら目指していきます。

こうした取り組みにより、青年の英語力の向上や国際感覚の醸成、人材育成、さらにはインバウンド誘客やアウトバウンド促進、地域経済活性化等の効果が期待されます。



▲産業交流スペース Megriba（メグリバ）で、市内若手起業家とホノルル市公式訪問団が意見交換をする様子。

今後は、青少年の英語によるオンライン交流やスポーツを通じた交流など、市内団体や民間への広

山口市・ホノルル市友好都市提携記念講演会

11/29
(土)

【場所】湯田地域交流センター大・中会議室

【時間】10時～11時30分

【演題】「ハワイに残る日本文化・山口文化」

【講師】西田純子氏（日本ハワイ移民資料館カルチュラルアドバイザー、山口市出身）

【定員】100人（申し込み不要）

【手話通訳・要約筆記】11月21日（金）までに要申し込み

【申込】国際交流課 ☎ 083-934-2725

FAX 083-934-2665 ✉ kokusai@city.yamaguchi.lg.jp



▲ホノルル市でも人気が高く、近年、日本国内でも愛好者が増えているピッケルボール。

がりを図る事業の検討を進めていきます。

高校生、 世界とつながる



▲調印式で、ホノルル市訪問団の前で披露された県立山口高校書道部のパフォーマンス。作品に記した書の意味などを英語と日本語で説明されました。



▲調印式後、ホノルル市のアンディ・サグ市長室首席補佐官（左）、トミー・ウォーターズ市議会議長（右）と高校生が、互いの文化を深く理解しようと英会話で交流。

県立山口高校では今後、ホノルル市にある高校と連携した探究活動等を通じて、グローバルな社会に貢献できる人材を育てる取り組みを進めていかれます。
※探究活動：関心のある課題に対して、自分なりの解を創造する学習

交流で生まれる未来

これまで、ハワイ在住の日系人の方々が現在のハワイ社会を築き上げるためにどれほど貢献されてきたかについて十分に理解していませんでした。ホノルル山口県人会の皆さまの祖先への敬意や山口に寄せる熱い想いに直接触れる機会をいただき、その想いがこの友好都市提携の実現へとつながったことに深く感動しています。

約150年前に山口から移住した方々が築いた絆を通して、今度はホノルル市の皆さんが山口市の魅力に触れ、新たな交流や学びが生まれることを心から願っています。

また、異なる文化や言葉に触れることで見えてくる世界やその面白さは、次世代に伝えたい貴重な宝物です。この友好関係を通じて、遠く離れた二つの街の市民が互いに世界を広げ、理解し合う未来を心から楽しみにしています。

山口市国際交流員
ガルベス・ルイス・ヘマ



▲左から、ホノルル市のアンディ・サグ市長室首席補佐官、ヘマさん、ホノルル山口県人会のゲイル・ワカタケ会長



市民生活の安全を守る取り組み 山口県中央消防指令センター運用開始

本年11月1日から、山口県中央消防指令センターにおいて山口市、萩市、防府市の3市による消防通信指令業務の共同運用を開始します。

今回の特集では、消防、救急等の市民生活の安全を守る取り組みについてご紹介します。

☎ 消防本部通信指令課 ☎ 083-932-2603

消防の連携・協力による 災害対応力の強化

現在、3市の消防本部では、年間約2万9000件の119番通報を受け付けており、その内容は、複雑多様化し、件数も増加傾向にあります。そうした中でも、市民の生命・財産を守るため、消防や救急の需要に対し、迅速かつ的確に対応することが求められています。

また、人口減少社会において、将来にわたり消防行政サービスを維持していくため、令和3年度に本市と萩市、防府市の3市の枠組みにより、消防通信指令業務の共同運用に向けた基本事項に関する協定を締結し、このたびの運用開始に至りました。

山口県央地域の 消防・救急の指令塔

山口県央消防指令センターは、山口市役所本庁舎（山口総合支所）5階に整備し、山口市消防本部、萩市消防本部（阿武町含む）、防府市消防本部のエリアを合わせた、県内最大規模となる人口約34万人、面積約2000平方kmを管轄します。

管轄エリアの119番通報は全て、指令センターにつながります。指令センターではこれまで活用してきた通報者の位置を自動的に探知する装置や出動する車両を自動的に選別する装置に加え、最新のシステムを導入し、災害現場にいち早く消防車や救急車を出動させます。

3市が力を合わせて実現する新しい防災体制

共同運用により、情報の一元化や最新のシステム導入等を行うことでより高度な防災体制を効率的に構築し、市民生活の安全を守ります。

災害対応力の向上

●災害情報や出動状況の一元管理により、火災や救急等が頻発した場合や、豪雨災害などの広域的な自然災害に対し、市域を越えて相互に応援出動することで迅速な対応が可能になります。



●指令センターが山口市役所本庁舎（山口総合支所）内にあることで、大規模災害等の発生時には、同じ庁舎内にある災害対策関連部署と緊密に連携し、迅速な初期活動や応急対策が可能になります。

●音声による通報内容を会話形式で視覚化することができる「音声認識システム」（左の写真）や通報者のスマートフォンを介して傷病者や現場の状況を確認することができる「Live119」（下記



参照）、より高い精度で場所の特定ができる最新の検索システムなどを導入することで、現場の状況把握のスピードと正確性を高め、通報者への助言をより効果的に行えるようになります。

●119番通報の方法はこれまでと同じで、全く変わりません。火事やけが、病気で倒れている人を見つけたら、落ち着いて119番通報をお願いします。

組織体制の強化

●3市の消防本部の人員を指令センターに集約することにより、専任の職員が24時間体制で指令管制業務を行えるようになります。

行政サービスの効率化

●3市共同でシステムの構築や維持管理をすることにより、単独で整備する場合と比較し、コストを抑えた、効率的な運用ができます。

POINT!



Live119

スマートフォン等のカメラで撮影した災害現場の映像を指令センターと共有することができる通報システムです。指令センターは映像を確認することで、通報者への的確な助言や、効果的な出動指令等につなげます。Live119の使用にあたっては、指令センターから通報者に手順等を説明し、SMS（ショートメッセージサービス）で撮影用のURLを送信します。

映像でつながってリアルタイム通報！
アプリ不要！
簡単操作！



消防本部通信指令課
土井 直樹 主幹

私たちは「救える命を救いたい」という思いで勤務しています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

「呼吸が苦しい」など、早急な搬送が必要な場合は、ためらわずに119番へ通報してください。本来に必要とされる方に救急車を届けるため、通報時には緊急度を判定するための質問をさせていただく場合があります。

ただし、救急車の要請を控えることが適正利用というわけではありません。「突然倒れて意識がない」「呼吸が苦しい」など、早急な搬送が必要な場合は、ためらわずに119番へ通報してください。本来に必要とされる方に救急車を届けるため、通報時には緊急度を判定するための質問をさせていただく場合があります。

指令センターからの
お願い

まちづくりの取り組み状況

図1 本市の総合計画の位置づけ

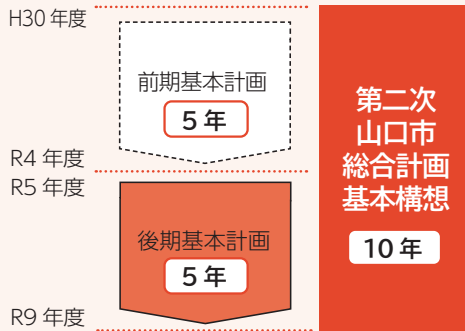


図2 後期基本計画（令和9年度まで）における取り組み状況

	取り組みが順調な指標数
全 体	108 指標
子育て・健康福祉分野	22 指標
教育・文化・スポーツ分野	17 指標
安全安心・環境・都市分野	33 指標
産業・観光分野	15 指標
協働・行政分野	21 指標

達成度が70%以上の指標の個数

※「まちづくり達成状況報告書」は、ウェブサイトで確認できるほか、各総合支所等でご覧いただけます。

2747
企画経営課 ☎ 083・934・

本市では、平成30年度からの10年を計画期間とする長期的なまちづくりの指針である「第二次山口市総合計画基本構想」に基づき、5力年ごとに基本計画を策定し、取り組みを進めています。後期基本計画2年目の令和6年度は、「ずっと安心 元気山口」予算と位置づけ、「今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らせるまちづくり」、「農山村と都市が共存共栄するまちづくり」、「未来に向けたチャレンジを支えるまちづくり」の3つの視点のもと、「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりに取り組みました。ここでは、昨年度の本市のまちづくりへの取り組みと成果を紹介します。（図1参照）。

成果指標を設定し、市民アンケートなどを基に評価

第二次山口市総合計画では、政策を5つの分野に区分し、本市が目指すまちの実現に向けて、まちづくりの進み具合や事業の成果状況を客観的に把握・分析するため、305の成果指標を設定しています。

この成果指標は、市民の皆さんを対象に行っている「まちづくりアンケート」の結果などを基に評価し、「まちづくり達成状況報告書」（※）として毎年公表しています。（図2参照）。

物価高騰等に対応した経済対策の取り組み

総額約 27 億円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者に対する支援の取り組みを進めました。

子育て・健康福祉分野

■ 子育て家庭の負担軽減に向けた取り組み

- ・ こども医療費助成制度の対象年齢を高校生世代まで拡大
- ・ 第2子以降の保育料を無償化
- ・ 1歳児健康診査の公費負担化
- ・ 小児のおたふくかぜワクチン接種費用を一部助成
- ・ 学校給食費の公費負担を拡充（物価上昇分を公費負担）

■ 待機児童解消に向けた取り組み

- ・ 保育園等の定員を合計 27 人拡大
- ・ 放課後児童クラブの定員を合計 365 人拡大
- ・ 保育士等の人材確保に向けて、私立保育園等に就職する新卒者への支援制度を創設

■ 健康都市づくり・地域福祉の推進

- ・ 帯状疱疹ワクチン接種費用を一部助成
- ・ 高齢者および障がい者の外出機会の創出に向けて、タクシー利用券の1乗車あたりの助成額を拡充



その他の取り組み

こども家庭センターを中心とした子ども・子育てに関する相談支援体制の強化、済生会山口総合病院の建て替え支援、介護人材確保に向けた資格取得・更新費用の助成 など

教育・文化・スポーツ分野

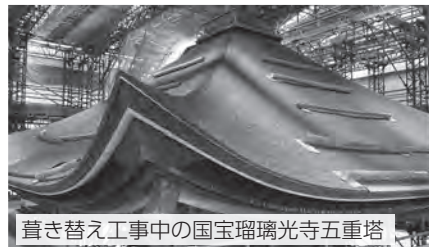
■ 教育なら山口

- ・ A L T や留学生と英語での交流を図る English Village の内容の充実や、海外とのオンライン授業について、実施校数・開催回数を拡充して実施
- ・ 山口情報芸術センター〔Y C A M〕との連携による「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、地域の魅力発見に向けた「360° 図鑑」や文化祭等でのデジタル壁画の制作など I C T を活用した取り組みを実施



■ 歴史・文化を生かしたまちづくり

- ・ 国宝瑠璃光寺五重塔の檜皮葺屋根全面葺き替え工事に対する支援
- ・ 山口市菜香亭開館 20 周年を記念した企画展や記念講演を開催



■ スポーツ・地域資源を活用した地域活性化

- ・ レノファ山口 F C と連携して、市内小学校や地域イベントでの交流活動を開催
- ・ 小学生の競技力向上を目的に、元プロ野球選手によるジュニア野球教室を開催
- ・ 気軽にさまざまなスポーツが体験できる「山口市スポーツフェスタ」を開催



その他の取り組み

山口市小郡文化資料館開館30周年記念事業の実施、中原中也記念館開館30周年記念事業の実施、鑄銭司郷土館開館40周年記念事業の実施、市立中学校の部活動地域移行に向けた取り組みの推進、ホノルル市との友好都市提携に向けた取り組みの実施 など

産業・観光分野

■ 中小企業、地場企業への人材確保支援

- ・ インターンシップの立ち上げや改善に取り組む市内中小企業等への伴走支援を実施するとともに、学生が企業を取材し、学生目線で企業の魅力などを分析する「ロケハンツアー」を実施
- ・ 中高生を中心とした職業体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」を開催
- ・ バス・タクシーの運転士確保を目的とした就職奨励制度を創設
- ・ 省人化・省力化につながる機器の導入支援を実施



■ 農林水産業の振興に向けた取り組み強化

- ・ 農業の省力化や生産性向上に向けて、スマート農機等の導入支援を実施
- ・ 農林水産業の新規就業者に対し、機械器具の整備支援や家賃補助、経営安定化に向けた経営自立化支援金を活用した支援を実施
- ・ 道の駅「仁保の郷」の機能強化整備、道の駅「あいお」の移転整備を推進



■ 国内外からの観光誘客拡大に向けた取り組み強化

- ・ ニューヨーク市マンハッタン「ジャパンパレード&ストリートフェア 2024」にて海外現地プロモーションを実施
- ・ 湯田温泉こんこんパーク開館に向けたプレイイベントとして、大屋根広場での開催を想定したスケート体験会などを開催
- ・ インバウンド向けパンフレットの作成、多言語サイトの充実など、インバウンドの受入環境整備を推進



その他の取り組み

重源の郷体験交流公園のリニューアル整備、農山村エリアの地域資源を活用したビジネス創出の支援、鑄銭司第二団地の完売、女性が働きやすい環境づくりへの支援 など

安全安心・環境・都市分野

■ ソフト・ハード両面からの災害対策

- ・都市整備部に「河川治水課」を新設し、市域全体の災害治水対策のマネジメント機能を強化
- ・問田雨水ポンプ場や長通り雨水幹線の整備、移動式排水ポンプ設備等の増設など、雨水排水対策を強化
- ・河川氾濫等の浸水被害を軽減するため、危険度の高い箇所^{しゅんせつ}の集中的な浚渫工事を実施
- ・災害対応能力の強化に向けて、災害情報をオンライン上で共有できる「総合防災情報システム」および市民向け防災情報サイト「山口市防災ポータル」の運用を開始し、災害時の迅速かつ的確な避難情報の発信・支援体制を強化
- ・災害時の拠点となる公共施設の防災機能の確保



移動式排水ポンプの整備・稼働



浚渫工事

■ 脱炭素先行地域の取り組み推進

- ・再生可能エネルギーの地産地消に向けて地域新電力会社「山口グリーンエネルギー株式会社」を設立し、山口市役所新本庁舎（山口総合支所）をはじめとする公共施設に対して、電力供給を開始

■ 中心市街地の活性化

- ・中心商店街アーケードのバリアフリー化、美装化を実施
- ・山口情報芸術センター〔YCAM〕との連携による子どもの遊び場「コロガルあそびのひゃっかてん」を実施



人々で賑わう中心商店街

その他の取り組み

国道9号の道路改築の早期事業化および国道2号の4車線化・歩道設置の整備促進に向けた取り組み、まちなかウォークブルの推進、徳地生活バスにおけるAIデマンド交通の実証運行の開始、シェアサイクル実証実験における電動アシスト付き自転車の新規導入およびサイクルポートの増設 など

協働・行政分野

■ 元気な地域コミュニティづくりに向けた取り組み

- ・地域の愛着や誇りを育み、地域活性化につなげる事業等に対して、地域の未来づくり促進特別交付金を交付
- ・自治会等が実施する防犯灯設置に対する補助限度額を拡充
- ・平川地域交流センター建替え整備を推進
- ・阿東地域交流センター生雲分館の多目的広場整備に向けた用地取得、測量設計を実施



地域の未来づくり促進特別交付金を活用し制作された「徳地まるごと百人一首」

■ 「もっと便利な山口市役所」に向けた取り組み

- ・便利な窓口サービスの実現や防災機能の強化に向けた新本庁舎棟の整備および庁舎前広場等の実施設計
- ・窓口支援システムを活用した「書かない窓口」の試験運用を開始
- ・マイナンバーカードを利用し、住民票等をオンラインで請求できるサービスを開始

■ シティセールスの推進

- ・「地球の歩き方 山口市」の発刊決定を契機とした情報発信の強化など、本市の認知度向上を図るためのプロモーションを展開



「地球の歩き方 山口市」
(令和7年10月9日発売)

その他の取り組み

山口市パートナーシップ宣誓制度の開始、公用車を活用したEVカーシェアリングのステーション増設、粗大ごみ個別収集のオンライン申込時における決済方法の拡充、移住・定住促進に向けた取り組みや、地域おこし協力隊をはじめとした外部人材の活用 など

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

山口市誕生20周年記念式典を行いました

10月4日（土）に山口市誕生20周年記念式典を行いました。

本市は、20年前の平成17年10月1日に、山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の1市4町が合併し、新たな「山口市」としての歩みを始め、平成22年には阿東町が加わり、現在の山口市の形となりました。



▲功労者表彰式の様子

市長は、「これまで、安心して住み続けられるまち、人々から選ばれるまちを目指して、都市政策の柱に『広域県央中核都市づくり』と『個性と安心の21地域づくり』の2つを掲げ、旧1市5町を新たな『県都山

口』として再構築を進めてきた。新市誕生から20年を迎え、これまでの『合併モードのまちづくり』から『新たなまちづくりのモード』へ移行することで、皆様と共に『ずっと元気な山口』をつくっていきたい。そして、次代を担う子どもたちにも、将来、『これが私のふるさとだ』と言ってももらえる、そのような山口市を目指したい」とあいさつしました。

式典では、地域づくりや自治会活動、保健医療や経済等の分野において、本市の発展にご貢献いただいた57団体と1個人を表彰したほか、20年の歴史を振り返る映像アーカイブやオンラインによる20歳の市民のリーメッセージも披露されました。

また、式典終了後には、國學院大學観光まちづくり学部長・教授の西村幸夫氏による「地域それぞれの個性を活かしたまちづくりのこれから」と題した特別講演会が行われました。

問 総務課 ☎ 083・934・2908

湯田温泉こんこんパークの入館者が10万人を達成しました

令和7年6月1日に開館した湯田

温泉こんこんパークの入館者数が、10月8日（水）に10万人に到達し、記念セレモニーを開催しました。

10万人目の入館者となられた、市内在住の久富さん親子には、花束と記念品が贈られました。

久富さんは「こんこんパークはよく家族で利用しており、1歳の息子は遊具と大きな階段、小学生の娘は足湯が気に入っている。私はマルシェ等のイベントに参加しており、心も体も癒されている」と話されました。

市長は「湯田温泉こんこんパークには、温泉施設や遊具、カフェ、休憩スペースのほか、大屋根広場でさまざまなイベントを行っており、いろいろな楽しみ方ができる施設。ぜひこれからもしっかりと利用してほしい」と感謝の気持ちを伝えました。



▲記念撮影の様子

問 湯田温泉パーク整備推進室 ☎ 083・934・2615

表紙の写真

「伝統が息づく荘厳な舞」

表紙の写真は、阿東嘉年地域にある嘉年八幡宮で奉納された土居神楽舞の様子です。

土居神楽は石州舞に属するもので、日本神話を題材とした演劇の要素を持っています。大正時代初期、島根県より講師を招き、定着したものといわれています。昭和時代初期までは、阿東地域にはいくつかの神楽がありましたが、現在残っているのは土居神楽のみであり、本市の無形民俗文化財に指定されています。

土居神楽舞保存会では、伝統芸能の継承のため、祭事に限らず、さまざまな場で舞を披露されており、本市がホノルル市と友好都市提携を結んだ際の祝賀会でも披露されました。言葉の壁を超えて、舞の一挙手一投足の力強さと美しさから、日本の文化を感じられている様子で、興味深く見入っておられました。

問 広報広聴課 ☎ 083・934・2753



▲ホノルル山口県人会の方が土居神楽舞の衣装を羽織られている様子

令和6年度決算報告

市民1人当たりいくら？

令和7年第3回市議会定例会で令和6年度の決算が認定されましたので、令和6年度の歳入歳出の実績について、市民1人当たり置き換えてお知らせいたします。

※市民1人当たりの換算額は、令和7年3月31日現在の人口18万4,585人を基に算出

問 財政課 ☎083・934・2750

市民1人当たり換算すると
58万8,066円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

22万2,140円

市税 **15万74円**

諸収入

預金利子や市が融資した
貸付金の返済金など

1万8,464円

その他(分担金及び負担金、
使用料及び手数料、財産収
入、寄附金、繰入金、繰越金)
5万3,602円

国や県を経由する収入
(依存財源)

36万5,926円

地方交付税

市町村間の財源の均衡を図
るため、国が交付するお金

10万6円

国庫支出金 一定の事業に
ついて、国が負担するお金
9万2,251円

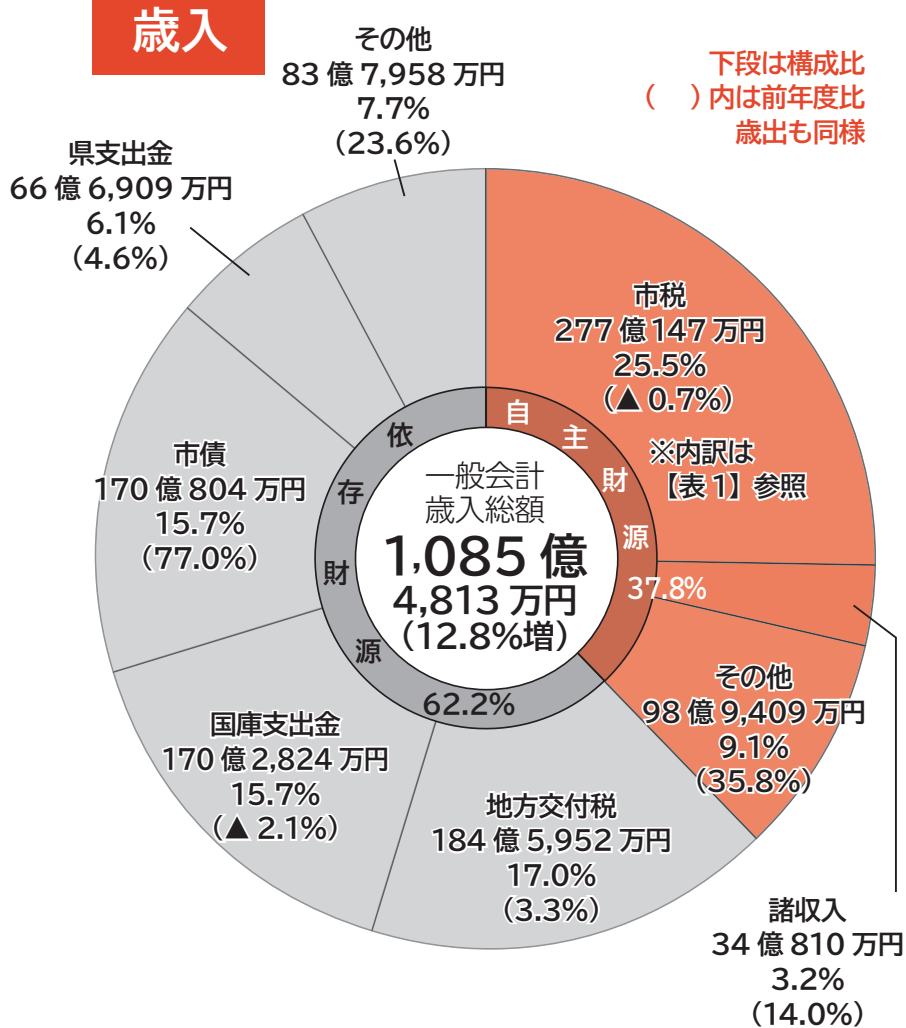
市債 市の借金

9万2,142円

県支出金 一定の事業につ
いて、県が負担するお金
3万6,130円

その他(地方譲与税、各種
交付金) **4万5,397円**

下段は構成比
()内は前年度比
歳出も同様



【表1】市税の内訳

税 目	令和6年度 決算額	構成比 (%)	前年度 比 (%)	市民1人当たり 金額
個人市民税	95億3,822万円	34.4	▲6.2	5万1,674円
法人市民税	23億3,826万円	8.5	12.0	1万2,668円
固定資産税	122億36万円	44.0	1.1	6万6,096円
軽自動車税	7億88万円	2.5	3.2	3,797円
たばこ税	12億3,199万円	4.5	▲0.6	6,674円
入湯税	8,110万円	0.3	15.4	439円
都市計画税	16億1,066万円	5.8	1.1	8,726円
合 計	277億147万円	100.0	▲0.7	15万74円

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源として、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

令和6年度の決算額は、歳入が1085億4813万円、歳出が1072億4845万円で対前年度伸び率が歳入12・8%の増、歳出13・6%の増となりました。

歳入から歳出を差し引いた12億9968万円から令和7年度へ繰り越した5億6839万円を差し引いた実質収支は7億3129万円の黒字となりました。

歳入

市税は、固定資産税や法人市民税が増加したものの、定額減税による個人市民税の減少などにより、前年度と比べて約2億1千万円減の277億147万円になりました。

地方交付税は、基準財政需要額の増などにより、約5億9千万円増の184億5952万円になりました。

また、国庫支出金は、新型コロナウイルス

市民1人当たりに使われるお金は
58万1,025円

【内訳】



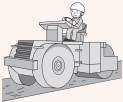
民生費
児童、高齢者、社会全体の福祉のために
18万9,331円



総務費
市の運営や地域の振興のために
13万2,095円



公債費
市債の償還のために
5万5,688円



土木費
道路や公園の整備などのために
4万1,742円



衛生費
生活環境の充実のために
3万6,345円



教育費
学校、社会教育のために
3万6,249円



消防費
消防や救急体制の充実のために
3万3,951円

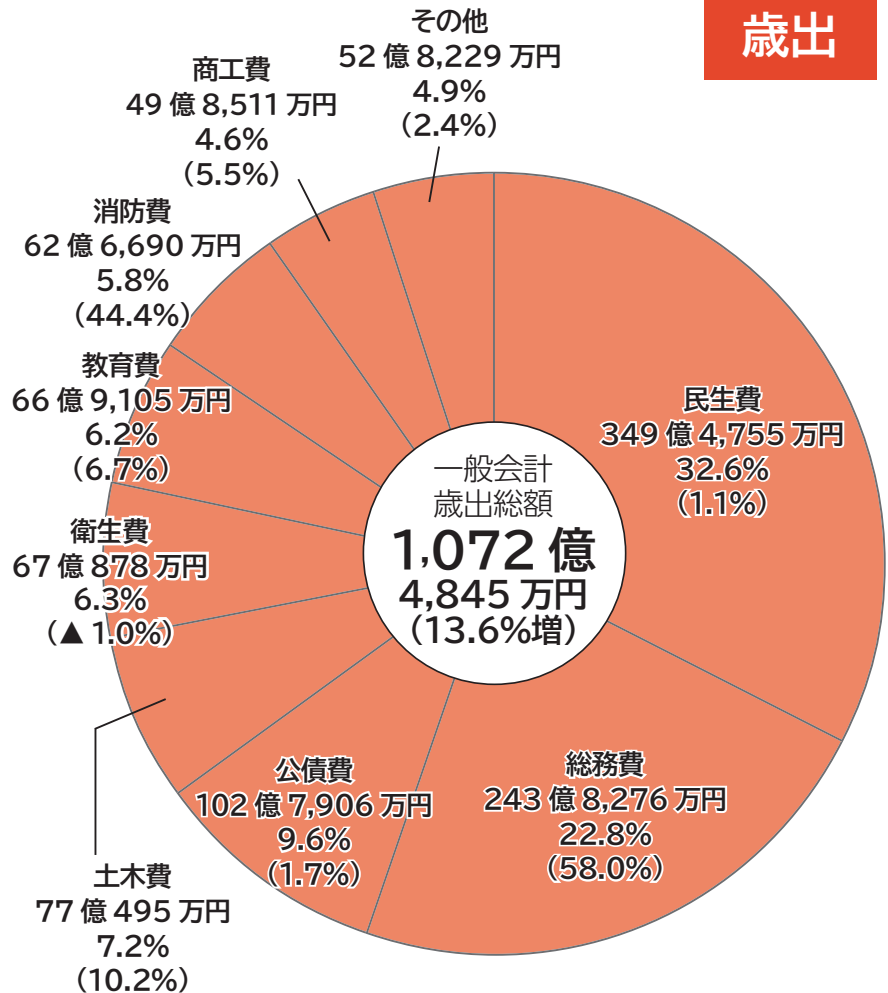


商工費
商業や観光の振興のために
2万7,007円

その他

(農林水産業費、災害復旧費、議会費、労働費) 2万8,617円

歳出



【表2】市債の状況

区 分	令和6年度末 現在高	市民1人当たり 現在高
一 般 会 計	1,168億8,195万円	63万3,215円
特 別 会 計	7億4,126万円	4,016円
合 計	1,176億2,321万円	63万7,231円
3月 末 現 在 高 に 対 す る 利 息	65億4,553万円	3万5,461円

※利息については、利率見直し等により変動します。

歳出

ウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、約3億6千万円減の170億2824万円になりました。市債は、新本庁舎整備事業等の進捗による増などにより、約74億円増の170億804万円になりました。また、その他の依存財源(地方譲与税、交付金など)は、地方特別交付金の増などにより、約16億円増の83億7958万円になりました。

総務費は、新本庁舎整備事業の進捗による増などにより、前年度と比べて約89億5千万円増の243億8276万円になりました。消防費は、消防指令センター共同整備事業の進捗による増などにより、前年度と比べて約19億3千万円増の62億6690万円になりました。

このほか、土木費は、公共下水道会計負担金の増などにより、前年度と比べて約7億2千万円増の77億495万円になりました。

令和6年度の市税の決算内訳は「表1」のとおりです。

令和6年度末の市債(借金)の状況は「表2」のとおりです。

基金の残高

区 分	令和 6 年度末 残高	市民 1 人当たり 現在高
財 政 調 整 基 金	30 億 2,049 万円	1 万 6,364 円
減 債 基 金	25 億 3,841 万円	1 万 3,752 円
その他特定目的 基 金	76 億 4,775 万円	4 万 1,432 円
合 計	132 億 665 万円	7 万 1,548 円

財政調整基金

経済事情の変動等で財源が不足する場合に、年度間の財源の不均衡を調整するための基金

減債基金

地方債の償還を計画的に行うための基金

その他特定目的基金

大規模施設の整備などのための基金



【表 3】令和 6 年度特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1 人当たり 歳出金額
国 民 健 康 保 険	188 億 1,392 万円	▲ 3.1%	188 億 612 万円	▲ 2.8%	10 万 1,883 円
後期高齢者医療	39 億 457 万円	14.9%	38 億 8,079 万円	15.0%	2 万 1,024 円
介 護 保 険	184 億 170 万円	0.4%	178 億 9,290 万円	0.5%	9 万 6,936 円
介護サービス事業	1,395 万円	▲ 5.9%	1,395 万円	▲ 5.9%	76 円
鑄 銭 司 第 二 団 地 整 備 事 業	11 億 6,808 万円	21.1%	11 億 6,808 万円	21.1%	6,328 円
地域下水道事業	676 万円	10.0%	676 万円	33.4%	37 円
国 民 宿 舎	1,256 万円	▲ 33.4%	1,242 万円	▲ 33.9%	67 円
特 別 林 野	446 万円	▲ 14.0%	425 万円	▲ 13.4%	23 円
合 計	423 億 2,600 万円	0.4%	417 億 8,527 万円	0.6%	22 万 6,374 円

特別会計は、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。令和 6 年度特別会計の歳入歳出決算は、次の【表 3】のとおりです。

特別会計

水道事業会計などの決算をウェブサイトで公表しています

水道事業や公共下水道事業などの公営企業会計は、受益者の皆様にご負担いただく水道料金などを主な財源として独立採算制による事業運営を行っています。令和 6 年度決算の状況については、上下水道局のウェブサイトで公表していますので、右の二次元コードからご確認ください。



今後の見通しと取り組み

将来のまちづくりと持続可能な財政基盤の確立に向けて

本市では、合併以降、未来を確かにするためのまちづくりに積極的に取り組みながら、市債の返済などに備えた基金も積み立ててきました。

一方で合併から 10 年以上が経過し、合併した自治体に対する国の財政支援措置が終了したことや、人口減少や少子高齢化の進展に対応した社会保障サービスなど今後必要となる多様な行政サービスの確保に向けた経費が増加するため、今後の財政運営は厳しくなる見通しです。

このような状況を踏まえ、持続可能な財政基盤の確立を図るため、令和 5 年 3 月に策定した「財政運営計画」に基づき、今後も引き続き、歳入・歳出両面から行財政改革の取り組みを進めていきます。

※詳しくは市ウェブサイトに掲載しています。

山口市 財政

検索

山口市の令和 7 年度上半期 財政状況を公表します

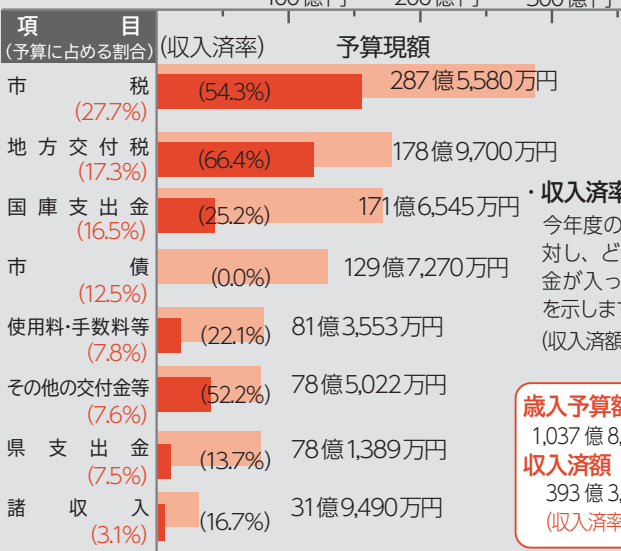
9月30日までに入ってきた金額と使われた金額やその内容など、令和7年度上半期の市の財政状況をお知らせします。
問 財政課 ☎ 083-934-2750

■ 一般会計の収支状況（9月末現在）

今年度の予算（9月末現在）は、1,037 億 8,549 万円（市民1人当たり約 56 万円）

※予算現額には、令和6年度からの繰越額 60 億 1,125 万円を含んでいます。

歳入



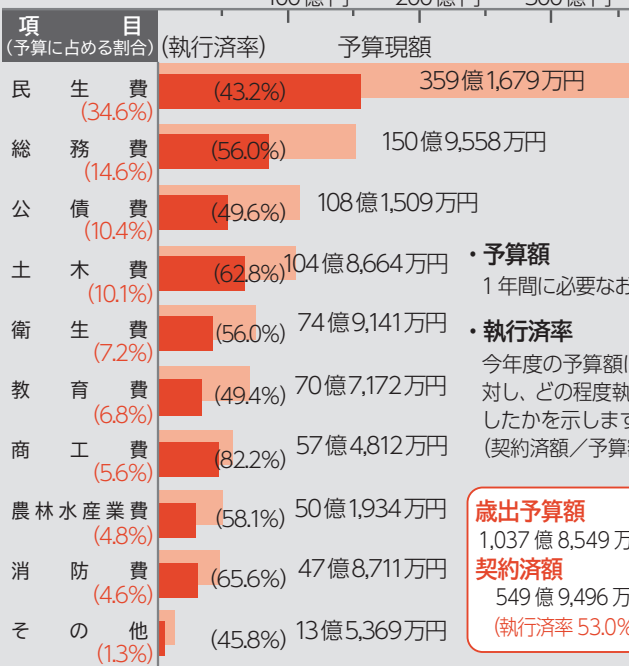
収入済率

今年度の予算額に対し、どの程度お金が入ってきたかを示します。
(収入済率/予算額)

歳入予算額

1,037 億 8,549 万円
収入済額
393 億 3,702 万円
(収入済率 37.9%)

歳出



予算額

1 年間に必要なお金

執行済率

今年度の予算額に対し、どの程度執行したかを示します。
(契約済額/予算額)

歳出予算額

1,037 億 8,549 万円
契約済額
549 億 9,496 万円
(執行済率 53.0%)

※その他は、災害復旧費、議会費、労働費、予備費の合計です。

※使用料・手数料等は、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金の合計です。

※その他の交付金等は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計です。

令和7年度一般会計の予算は、当初予算に令和6年度からの繰越額 60 億 1,125 万円を加えた 1,029 億 1,125 万円でしたが、その後、8 億 7,424 万円の追加補正を行い、9 月末現在で 1,037 億 8,549 万円となりました。追加補正の主な内容は、定額減税補足給付金給付事業費としての 8 億 800 万円です。

■ 市債の状況

区 分	9 月末現在高	1 人当たりの現在高
一 般 会 計	1,118 億 4,433 万円	60 万 5,684 円
特 別 会 計	5 億 7,303 万円	3,103 円
合 計	1,124 億 1,736 万円	60 万 8,787 円
利 息	62 億 1,770 万円	3 万 3,671 円
一時借入金	0 円	0 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

※9月末現在の人口 18 万 4,658 人

■ 特別会計の収支状況（9月末現在）

「特別会計」とは、国民健康保険や介護保険など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する会計です。

会 計	予算現額	収入済率	執行済率	会 計	予算現額	収入済率	執行済率
国民健康保険	192 億 7,035 万円	36.3%	41.1%	地 域 下 水 道	842 万円	23.6%	47.7%
後期高齢者医療	40 億 6,186 万円	35.7%	36.2%	国 民 宿 舎	1,532 万円	1.0%	71.2%
介 護 保 険	183 億 8,935 万円	44.1%	40.9%	特 別 林 野	1,006 万円	26.9%	36.7%
介護サービス	1,759 万円	23.2%	30.7%	合 計	421 億 1,003 万円	40.1%	40.6%
錦銭司第二団地整備	3 億 3,708 万円	100.0%	50.0%				

■ 市有財産現在高

区 分	9 月末現在高
土 地	853 万 1,301.06㎡
建 物	72 万 692.05㎡
山 林	2万 2,930.32ha
立 木	525 万 7,746㎡
有価証券	1 億 2,197 万円
出 資	9 億 8,933 万 5,998 円
による権利	3,104.09㎡
債 権	14 億 2,219 万 8,500 円
(現金)	177 億 6,230 万 9,336 円
基金 (土地)	11 万 1,839.36㎡



山口県央連携都市圏域

山口ゆめ回廊

YAMAGUCHI YUME KAIRO

圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

美祿 芸術村フェスタ 芸術村が贈る、とっておきの秋

誰もが知る映画音楽を弁士の言葉に乗せて楽しむイベント。山口愛強めのオリジナルプログラムをご用意しています。



▲詳細はこちら

期日 11月23日(日)、24日(月・休)
所 問 秋吉台国際芸術村(秋芳町秋吉50) ☎ 0837-63-0020

萩 毛利輝元没後400年記念テーマ展「長州萩藩祖毛利輝元」

萩博物館が長年にわたり収集してきた資料を通して、長州萩藩祖毛利輝元の人物像や功績を紹介します。



▲詳細はこちら

期間 10月4日(土)～12月7日(日)
所 問 萩博物館(堀内355) ☎ 0838-25-6447

津和野 堀庭園紅葉ライトアップ

紅葉の名所堀庭園で、今年もライトアップを開催します。樹齢300年の楓の老木の幻想的な姿をご覧ください。



▲詳細はこちら

期間 10月31日(金)～11月3日(月・祝)
所 問 旧堀氏庭園(邑輝795) ☎ 0856-72-0010

山陽小野田 昭和レトロ祭り ～セメント町横丁～

旧セメント町商店街を舞台に、屋台や縁日等、昭和レトロなお祭りを開催します。



▲詳細はこちら

日時 11月9日(日) 10時開始
場所 旧セメント町商店街(中央二丁目)
問 小野田商工会議所青年部 ☎ 0836-84-4111

宇部 まちじゅうエヴァンゲリオン第5弾

『エヴァンゲリオン』の世界観を楽しめるイベントです。



▲詳細はこちら

期間 11月20日(木)～令和8年3月15日(日)
場所 宇部市内
問 宇部市観光交流課 ☎ 0836-34-8353

防府 御神幸祭(裸坊祭)

御神幸祭は、学問の神様・菅原道真公の御霊を慰めるために、1004年に斎行された最も重要な神事です。



▲詳細はこちら

日時 11月22日(土) 18時開始
所 問 防府天満宮(松崎町14-1) ☎ 0835-23-7700

Check

イベントカレンダーは
WEB版市報をご覧ください

今月のイベントカレンダーは、WEB版市報やまぐち(右の二次元コードから)に掲載しています。



私たち活動サポーターは、子どもたちの学びや遊び場として、空き家や山林を提供したり、米作りや、茶道、そば打ち等の里山暮らしを子どもたちと一緒に体験したりしています。



▲活動サポーターの方が保育園のイベントに参加された様子

大殿地域はかつて、大内氏の城下町として栄え、今も残る風情ある寺院やまち並みが人々を惹きつけています。そして、桜やホテル等、四季折々の表情をみせる一の坂川を上流にのぼっていくと、萩往還の入口があります。現在、その萩往還入口には、保育園があり、子どもたちと地域を結び憩いの場所になっています。今回はその保育園で、知識や経験を生かし、子どもたちの学びや成長を支える「活動サポーター」をされている、地域の方にお話を伺いました。

◆地域で育む 子どもたちの成長◆

21地域リレーコラム

vol.1

大殿地域

個性豊かな市内21の地域。それぞれの地域で取り組んでおられる魅力ある活動等をリレー形式で紹介します。
問 広報広聴課 ☎ 0833・9334・2753



▲そば打ち体験の様子

子どもたちが、里山暮らしや自分たちが守ってきた自然を楽しんでくれることが何よりも嬉しいです。この地域でさまざまな経験をすることで、知恵やたくましさを身に付けてほしいと思います。上天花は高齢化が進んでいます。が、保育園ができたことで、子どもたちの賑やかな声が響くようになり、地域全体が明るくなりました。日々の草刈りや畑仕事も、ここが子どもたちの遊び場になると思うと、自然と力が入ります。また、住民同士も保育園のお祭りが増えることで、関係性がより深まっていくように感じます。卒園した後も、子どもたちが遊びに来てくれることも嬉しいです。この地域が子どもたちにとって、気軽に立ち寄れる居心地のよい場所になってほしいと思います。

次回は**白石地域**に
リレーします！

市内各地域の情報が掲載された「地球の歩き方 山口市」も販売中。

この広報紙は再生紙を使用しています。処分する際は、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市政情報を「山口市LINE公式アカウント」で配信しています。



市報やまぐち 11月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1 <https://www.city.yamaguchi.lg.jp>
編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111 (代表) / 印刷 株式会社マルニ